

綾町埋蔵文化財調査報告書第3集

綾町内遺跡 I

2001. 3

宮崎県綾町教育委員会

綾町埋蔵文化財調査報告書第3集

綾町内遺跡Ⅰ

2001. 3

宮崎県綾町教育委員会

序 文

綾町は宮崎県のほぼ中央部に位置しており、照葉樹林が生い茂り、滾々と湧き水が湧き出る自然の豊かな町であります。古代からの歴史を語る文化財は、町民の財産でもあり、この文化財を保護しながら整備を図り、歴史の謎を解く資料とし後世に残すことは、現代に生きる我々に課せられた責務であります。

近年、本町においても各種の開発事業を実施するのに伴い、開発と保護の調整をいかに図るかが重要な課題となっております。綾町教育委員会では、これらに対応するため平成7・8年度に実施した町内遺跡詳細分布調査の結果をもとに、開発に伴う遺跡の確認を目的とした町内遺跡発掘調査事業を実施しております。

本書は平成12年度に実施した調査の報告であります。本書が文化財保護への理解に役立つとともに、生涯学習・学校教育等の場で広く活用されれば幸いに存じます。

最後になりましたが、調査にご協力いただいた諸関係機関や地権者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成13年 3 月

綾町教育委員会
教育長 森山 喜代香

例 言

1. 本書は、綾町教育委員会が文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した町内遺跡発掘調査の報告書である。

2. 調査は下記の体制でおこなった。

調査主体 綾町教育委員会

前 教 育 長 猪野 昭男（平成12年10月19日にて任期満了）

教 育 長 森山 喜代香（平成12年10月20日より現職）

社会教育課長 玉田 清人

社会教育係長 蓮子 浩一

庶務担当 社会教育係 畑中 真紀・井上 隆広

調査担当 社会教育係 井上 隆広

調 査 作 業 員 阿満峰夫・井上幸晴・大隈昭男・川越重則

河崎武夫・川添時雄・田口和雄・千々和憲一郎

中澤行宜・西丸清春・日高通夫・平元和光

松元 年・松元 勝・山田 学・横瀬 巧

整 理 作 業 員 金丸 千穂

3. 現地調査は、井上がおこなった。

4. 本書の編集執筆は井上がおこなったが、第I章の1 a 地形的環境については宮崎県総合博物館の青山尚友氏にご教示いただいた。

目 次

本 文 目 次

I はじめに

1. 綾町の環境	7
a 地形的環境	7
b 歴史的環境	7
2. 調査の目的	9
a 綾町の今年度の開発について	9

II 試掘調査

1. 綾北川以北	13
a 立山地区	13
2. 中央地区	14
a 野首・二本松地区	14
b 窪上地区	15
c 遠目塚地区	16

挿 図 目 次

第1図 立山地区調査位置図	13
第2図 野首・二本松地区調査位置図	14
第3図 窪上地区調査位置図	15
第4図 窪上地区調査地周辺地形図	15
第5図 遠目塚地区トレンチ内基本柱状図	16
第6図 遠目塚地区調査位置図	17
第7図 遠目塚地区調査地周辺地形図	17

図 版 目 次

図版1 小田爪地区貝の化石層	7
図版2 尾立遺跡遠景	8
図版3 大工園古墳（首塚）	8
図版4 亜柳駅跡	8
図版5 垂水城跡遠景	8
図版6 立山地区調査地遠景	13
図版7 立山地区トレンチ	13

図版 8	野首・二本松地区調査地遠景	14
図版 9	野首・二本松地区トレンチ	14
図版10	窪上地区調査地遠景 1	16
図版11	窪上地区調査地遠景 2	16
図版12	窪上地区トレンチ 1	16
図版13	窪上地区トレンチ 2	16
図版14	遠目塚地区調査地遠景	16
図版15	遠目塚地区トレンチ	16

表 目 次

表 1	2000年度試掘調査一覧表	9
表 2	報告書登録抄	18

I はじめに

1 綾町の環境

a 地形的環境

b 歴史的環境

2 調査の目的

a 綾町の今年度の開発について

1. 綾町の環境

a. 地形的環境

綾町の地形は大きく見ると、東と北隣は国富町の段丘地形及び山岳稜線で境されている。南は高岡町と接し、標高200mの丘陵地形が広がる。西は須木村と山岳の稜線で接している。町の80%は山林が占め、綾北川・南川に囲まれた地域には段丘地形と扇状地が広がっている。

一方地質を見ると、山岳地形を構成するのは古第三紀の日向層群（四万十累層群）である。この地層は砂岩層、泥岩層、砂岩泥岩互層からなり、NE-SW方向の走向を示している。段丘地形を構成するものは新第三紀中新世の宮崎層群である。この地層は基底礫岩から始まり、砂岩層、泥岩層、砂岩泥岩互層から成る。宮崎層群の地層は、日向層群に比べて固結度が弱いため侵食されやすく、そのため平坦な段丘地形がよく発達している。宮崎層群は日向層群を傾斜不整合に覆い、砂岩層には貝の化石を多く含んでおり、町内の至るところで貝の化石が発見されている。二反野の丘陵には、高位段丘礫層が堆積している。錦原付近の段丘は、中位段丘礫層から成る。概ね町内の地表付近にはアワオコシ、小林軽石、アカホヤなどのテフラが層をなして降下堆積している。



図版1 小田爪地区の化石層

b. 歴史的環境

町面積の80%を森林が占める綾町は、大淀川水系の綾南川・綾北川の合流点の扇状地に位置しており、集落は平坦地にある中心地区と、その周辺丘陵地及び山間高台地に点在している。

綾町の遺跡は、現在のところ平成7・8年度の詳細分布調査で約60箇所が確認されており、それらの遺跡のほとんどは、町中央部を流れている綾南川の南岸、綾北川の北岸、そしてその両河川に挟まれた中間丘陵地に分布している。

旧石器時代の遺跡は、現在のところ見つかっていない。しかしながら、本町との町境に所在する高岡町向屋敷遺跡では、集石遺構と共にナイフ形石器やスクレイパーが見つかっており綾町内でも遺跡が発見される可能性があるといえる。

縄文時代の遺跡は、平坦地には見られず、そのほとんどが丘陵地に分布している。縄文時代の表採資料としては、早期～後期のものが多く見ついている。特に綾町で県内の縄文後期の代表的な遺跡として挙げられるものが、中央丘陵地に所在する尾立遺跡である。この遺跡は、大正7年京都大学の濱田耕作博士らによって調査され、その後も何度か宮崎考古学会や宮崎大学等により調査がなされている。主な遺物は、縄文後期土器のほか磨製石斧、石錘、石鏃などが出土している。また早期の遺物では押型文土器や貝殻文系の土器の破片が見ついている。

弥生時代の遺跡は現在のところ見つからないが、詳細分布調査において高杯や壺などの破片が見つかった遺跡もある。

古墳時代の遺跡は、宮原台地や錦原台地にその存在が確認されている。特に宮原地区では県の文化財に指定されている綾町古墳が3基所在している。また、四反田古墳の付近では昭和43年の畑地改良事業により地下式横穴が1基発見され副葬品として土師器・須恵器計7点や人骨が出土した。この地下式横穴の築造の時期については、須恵器の形式などから古墳時代後期と考えられている。古墳の所在する台地の一段下の宮原台地には、古墳時代の土師器や須恵器が多量に表採されており、集落の存在を予想させている。一方、錦原台地には古墳1基が所在している。その付近の内屋敷遺跡では、天井部の崩落により地下式横穴が1基発見され、県の文化課によって昭和56年調査がなされている。そして、尾立遺跡付近の中迫遺跡では、ゴボウトレンチャーの掘削により陥没が起こり、県文化課によって発掘調査がなされ3基の地下式横穴が見つかった。この調査で直刀、鉄斧、イモガイ製貝輪、平玉等が出土し、また遺存状況の悪い女性の人骨も出土している。この遺跡で2基の竪坑の切りあいがみられたことは県内でもあまり例がなく特徴的である。中迫地下式横穴墓群の営まれた時期については出土遺物の構成などから5世紀末から6世紀前半が考えられている。

古代の遺跡については調査がなされていないが文献等によると「亜椰駅」の存在が予想される。

中世については、南北朝期を経て綾氏、伊東氏、島津氏が領有した「綾城」の存在がある。



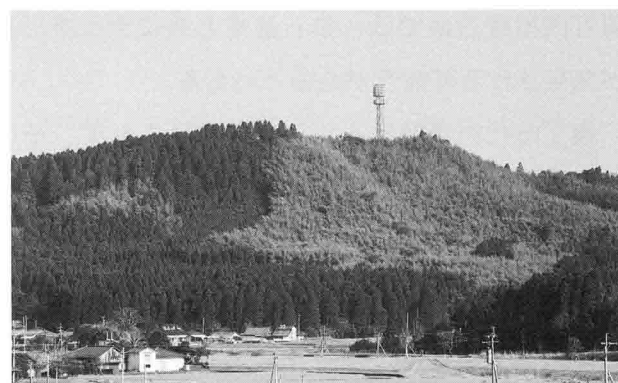
図版2 尾立遺跡遠景



図版3 大工園古墳（首塚）



図版4 亜椰駅跡



図版5 垂水城跡遠景

綾城は伊東氏時代には、48城の一つとなり山東の拠点として重要な役割を果たした。このほかにも、町内にはこの頃の山城として垂水城跡や肥田木城跡が残っている。特に垂水城は現在でも堀や土塁が良好に残っている。

参考文献

- 綾 町 1979 『綾町郷土誌』
 石川恒太郎 1969 「東諸県郡綾町地下式古墳調査報告」『宮崎県埋蔵文化財調査報告書』
 第13集 宮崎県教育委員会
 面高哲郎 1993 「内屋敷地下式横穴群」『宮崎県史』資料編考古2 宮崎県
 高岡町教育委員会 1996 『向屋敷遺跡』高岡町埋蔵文化財調査報告書第10集
 日高孝治 1993「四反田地下式横穴」『宮崎県史』資料編考古2 宮崎県

2. 調査の目的

a. 綾町の今年度の開発について

綾町は、宮崎市街地より離れていることもあり大規模な開発に縁遠いところである。しかしながら、開発が全くなかったわけではなく、確実に町内の遺跡は破壊されてきたといえる。今年度の開発は、町単独事業や県の農業関連の公共事業がほとんどであった。それらについては、教育委員会が主となりトレンチ法による試掘調査によって対応した。一方、民間開発については、最近の傾向として土とり等の小規模開発が増えてきているが、現在のところそのすべての把握が困難な状況にある。今後は、発掘調査が事業者課せられた義務であることを周知徹底させることと、民間開発を把握する体制を整えることが必要である。

表1 2000年度試掘調査一覧表

	遺跡名	場 所	調査期間	原因	開発主体	成 果
1	立山地区	大字入野	H12. 8. 16～21	最終処分場建設	綾町	遺構無し
2	野首・二本松地区	大字北俣	H12. 9. 25～28	道路拡張工事	宮崎県	ピットなど
3	窪上地区	大字北俣	H13. 1. 17・18	道路拡張工事	宮崎県	遺構無し
4	遠目塚地区	大字南俣	H13. 1. 24～31	道路拡張工事	宮崎県	縄文土器 黒曜石など

Ⅱ 試掘調査

1 綾北川以北

a 立山地区

2 中央地区

a 野首・二本松地区

b 窪上地区

c 遠目塚地区

1 綾北川以北

a 立山地区

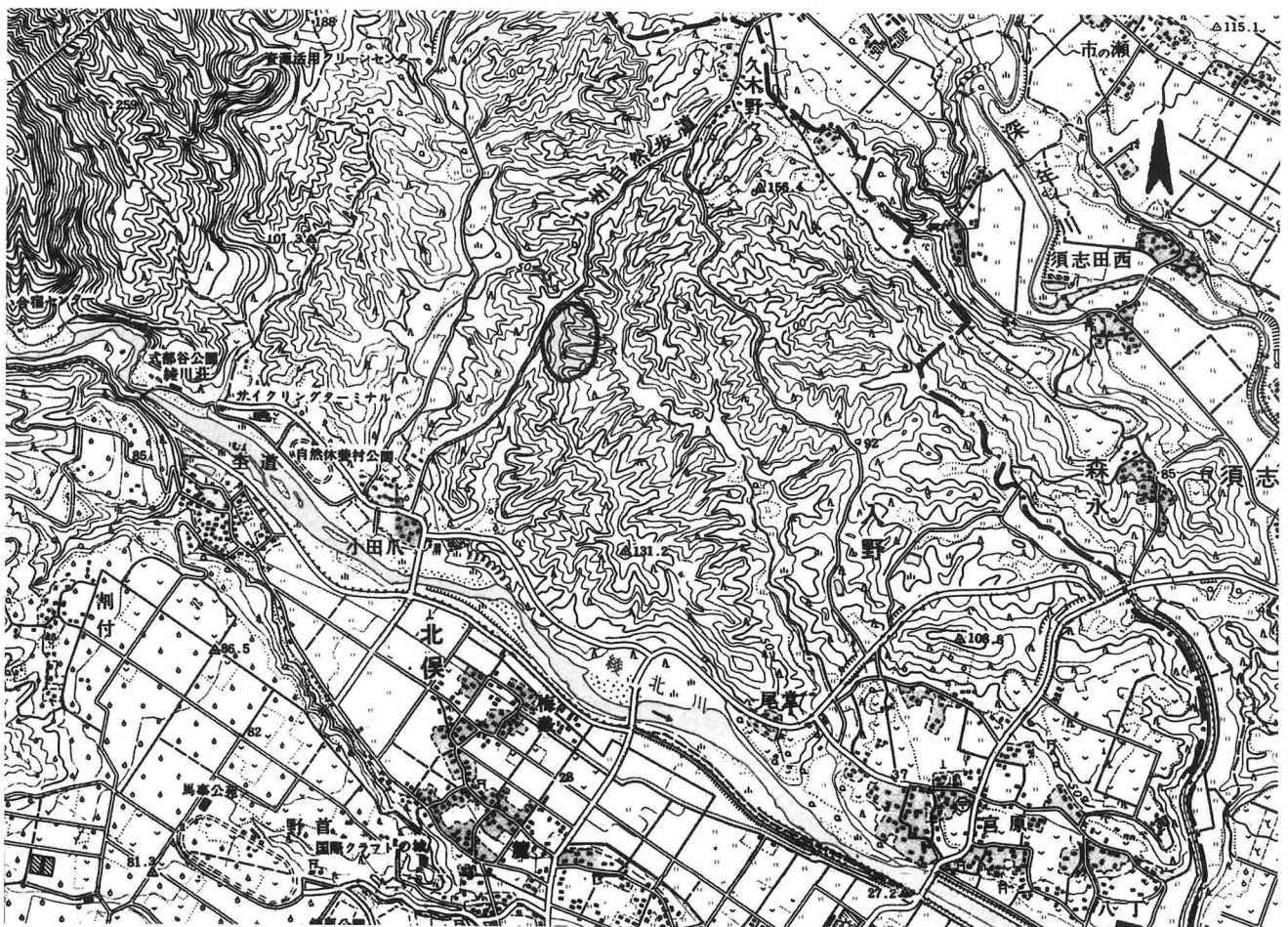
綾町では町の単独事業として綾北川の北、立山町有林に最終処分場建設を計画した。このことから綾町教育委員会は担当課である町民生活課と埋蔵文化財の取扱いについて協議を行なった。その結果、教育委員会が試掘調査を実施することとなった。8月中旬に予定地において試掘調査を実施した。試掘調査は敷地内の尾根を中心におこない、1m×2mほどのトレンチを合計23本入れた。表土は薄くほとんど風化しており良好な地層は確認できなかった。遺物遺構ともに発見されなかった。



図版6 立山地区調査地遠景



図版7 立山地区トレンチ



第1図 立山地区調査位置図 (1/25,000)

2 中央地区

a 野首・二本松地区

野首・二本松地区は、錦原台地の北東、標高85mほどのところに広がる場所である。県営ふるさと農道整備事業に伴う試掘調査で、9月下旬に調査を実施した。試掘トレンチは道路拡張部分を中心に、1m×2mの大きさのものを合計16本入れた。調査地周辺では石錘や土器の破片を表採出来る地点もあったが、昭和39年より始まった錦原区画整理事業によってアカホヤ直上はほとんど削平を受けていた。No.1～4のトレンチは以前民家が建てられていたため上部はほとんど掘削を受けておりアカホヤが検出されず、小林軽石層まで掘り下げたが遺構や遺物は見つからなかった。また、かろうじてアカホヤの削平をまぬがれた他のトレンチでは一部ピットや溝などが検出されたところがあったが、遺物の出土がなく時代が特定できるものはなかった。



図版8 野首・二本松地区調査地遠景



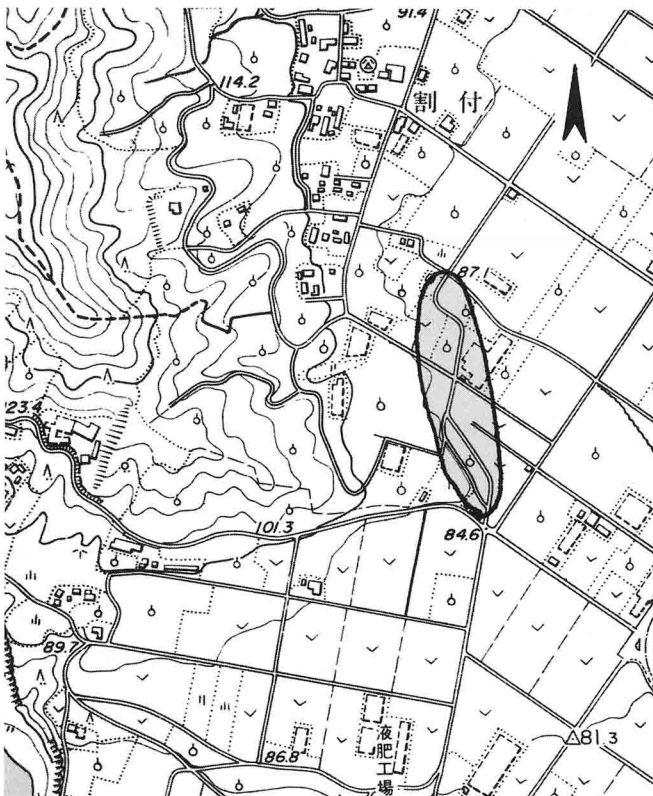
図版9 野首・二本松地区トレンチ



第2図 野首・二本松地区調査位置図 (1/25,000)



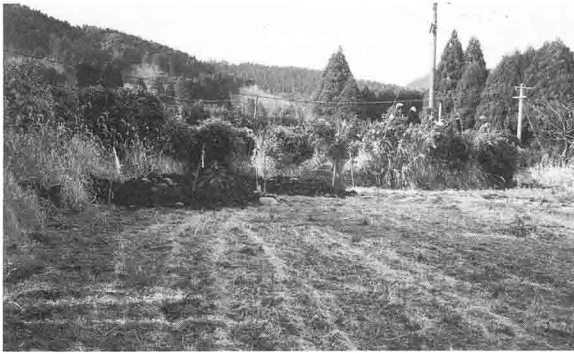
第3図 窪上地区調査位置図 (1/25,000)



第4図 窪上地区調査地周辺地形図 (1/10,000)

b 窪上地区

窪上地区は、錦原台地の西、尾立遺跡のある丘陵台地の麓に面する地区である。今回は道路拡張工事に伴う試掘調査で、1月中旬に調査を実施した。道路拡張部分に1m×2mの大きさのトレンチを合計8本入れた。No.1～4、7、8のトレンチの場所は5、6トレンチに比べて1.5mほど標高差があった。No.1～4のトレンチはアカホヤ層が検出されたが、残りのトレンチでは検出が出来なかった。当初の地形踏査で石錘が見つかった地点があったが、トレンチ内からは遺構や遺物は発見されなかった。



図版10 窪上地区調査地遠景 1



図版11 窪上地区調査地遠景 2



図版12 窪上地区トレンチ 1



図版12 窪上地区トレンチ 2

c 遠目塚地区

道路拡張工事に伴う工事で、1月下旬に試掘調査を実施した。この場所は、周知の埋蔵文化財包蔵地の遠目塚遺跡に隣接するところであり、遺跡の存在も考えられた。道路拡張部分に1m×2mの大きさを合計13本のトレンチを入れ遺構確認したが、その存在は確認されなかった。しかし耕作土中からは縄文土器や黒曜石の剥片が出土した。地元の方の話によるとこの表土は、他の場所から運んできた土で、その中に大量の土器などが混じていたのではないかという事だった。



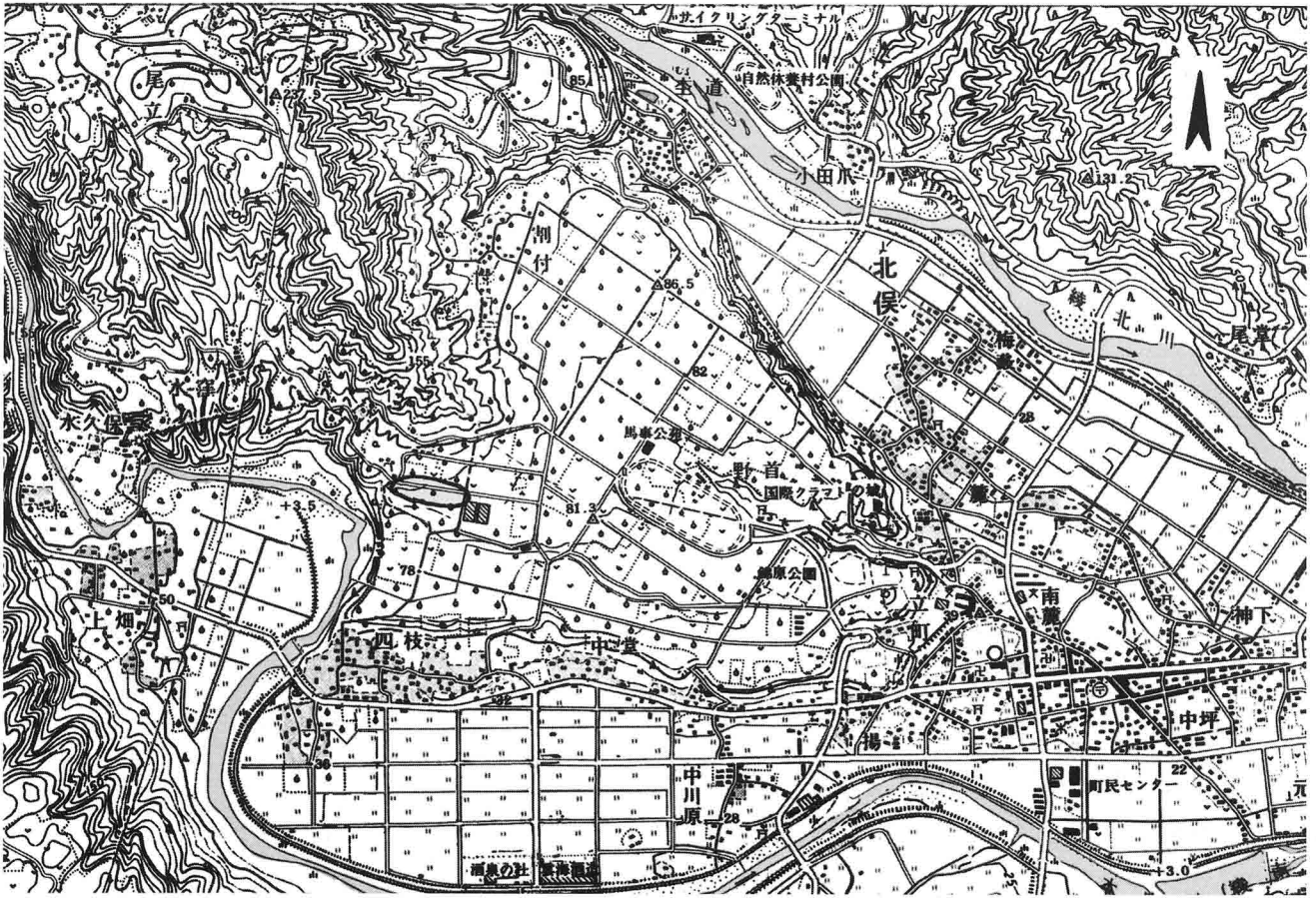
図版14 遠目塚地区調査地遠景



図版15 遠目塚地区トレンチ

表 土 (黒褐色)
黒 色
ア カ ホ ヤ (明 黄 褐 色)
黒 色
褐 色
暗 褐 色

第5図 遠目塚地区トレンチ内基本柱状図



第6図 遠目塚地区調査位置図 (1/25,000)



第7図 遠目塚地区調査地周辺地形図 (1/10,000)

表2 報告書登録抄

フリガナ	アヤチヨウナイイセキ
書名	綾町内遺跡 I
シリーズ名	綾町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第3集
編集者名	井上隆広
発行機関	宮崎県綾町教育委員会
所在地	宮崎県東諸県郡綾町大字南俣546-1
発行年月日	2001.3

綾町埋蔵文化財調査報告書第3集	
綾町内遺跡 I	
2001年3月	
編集・発行	綾町教育委員会 〒880-1303 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣546-1 TEL.0985-77-1183
印刷	富士マイクロ株式会社 〒880-0031 宮崎県宮崎市船塚2丁目182-1 本村ビル1F TEL.0985-27-4068

